

◇森 元 淑 雄 君

○議長（澁谷俊二君） 次に、6番、森元淑雄君の一般質問を許可いたします。森元淑雄君、登壇願います。

（6番 森元淑雄君 登壇）

○6番（森元淑雄君） おはようございます。この席に立つのは大変久方ぶりでありまして、質問がよくなるか大変に不安であります。通告に従って一般質問をいたします。質問内容は至ってシンプルで単純な事項であります。敬老会についてであります。美郷町が誕生して、はや15年がたちました。そして先月2日には、合併15周年記念式典を秋田県トップで挙行了したところでありました。町長はその式辞の中で、美郷町はこの15年間、さまざまな取り組みを重ね、本質を守りながら変化をし続けたし、これからも変化し続けると述べられました。しかしながら、私はこれまで余り変化をしてこなかったものの一つが、敬老会への取り組みだったと思っております。そのことはまずこのグラフを見ていただきたいと思えます。この縦軸は人数ですね。横軸は各年度となっております。合併をした17年から19年までは資料が残っていないため、平成20年度よりのグラフとなっております。平成20年度では、黒色の招待者数が3会場で3,668人であり、うち式典への参加者数は、この赤であります、620人であり、参加率は約17%となっている状況であります。そして、記念品等の受け取りについては、本人及び代理人合わせて2,903人の方々が受け取っている状況であります。その後、各年度において、黒色のグラフであります。招待者数は余り変動がなく、3,600人から900人台で推移をしておりますが、式典への参加者数については、直近3カ年で見ますと、平成29年度では3会場で350人で、率にして約9%となっております。また、平成30年度では、3会場で390人であり、その参加率は9.9%で、やや改善されましたが、令和元年度においては、3会場で320人となっており、その参加率は8.2%となった現状であります。このようなことからして、私は今後の敬老会におかれましては、会場を1会場とし、そしてその名称なども「美郷町長寿を祝う会」などとしてみてはと思うところであります。その際においては、式典の中身、アクションプログラム及び記念品など、そして会場への足の確保、何よりもお年寄りの方々が来てよかったな、楽しかったなと思われるような会にすべきと考えますが、町長はこの敬老会については、今後どのように行っていくと考えておられるのか。ご見解をお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。敬老会は、長年にわたって社会に

貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うことを目的として合併前から開催しており、合併後も旧町村単位3カ所で開催しているところです。その敬老会では、式典に加え内容を変化させながら、現在は町のリーディングプロジェクトであるセルフケアの推進と健康寿命の延伸につなげるため、介護予防を意識した健康講話などを実施するとともに、お楽しみアトラクションとして、認定こども園の協力のもと、園児による遊戯を実施してきているところです。また、お祝い品については、敬老会の趣旨を踏まえつつ町の産業振興にもつながるよう、町内産品を選定してお配りしてきております。敬老会の参加状況については、ことしは招待者3,907人のうち式典参加者が320人で、全体の8.2%にとどまっており、議員ご指摘のとおり、ここ数年は10%を切る状況となっているところです。なお、お祝い品のみ受け取りの方を含めると約8割となっておりますので、多くの方々から敬老会の開催趣旨は受けとめていただいているものと認識しております。

敬老会の式典への参加者減少についてはいろいろな要因があるものと存じますが、開催の趣旨をご理解いただきながら、参加の輪がもっと広がっていくために、これまでの開催方法や内容を再検討する時期が来ているように、私も認識しているところです。つきましては、議員ご提案の趣旨を受けとめ、来年度からはその方向で開催するよう、今後、開催会場や式典のあり方、お祝い品のあり方やアトラクションのあり方、そして足の確保のあり方など、近隣自治体の状況を把握しながら、総合的に見直し検討をしてみたいと存じます。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）6番、森元淑雄君の再質問を許可いたします。

○6番（森元淑雄君） 時代の流れで何かが決まるときは、批判もあれば賛同もあろうかと思いますが、例えば会場が遠くなり不便で行けないなど、いろんなことが予想されるわけですが、それはそれとして、最も大事なことは、再三再四申し上げておりますが、中身をより濃く、より充実した企画でお年寄りの方々から喜ばれ、また来年もぜひ来てみたいと思われるような内容でなければと思うものであります。それについては、町で補助金を出している団体とか、例えば芸文協さんの力をかりるなど、ちょうど議員の中にも会長さんがおられますので、よろしく願いをしてみるなど、また、私ども交安協も、頼まれれば喜んで協力をしたいと思っております。それから、ちょっとの時間でみんなで考える防災などの企画や、炊き出し、そしてそのおかずとして保存食を使ったような実演をするなど、いろんなアイデアを出し合い、各組織、団体と連携をとりながら、お金は余り使わず、頭は思い切って使って取り組むべきと思いますが、これらの事柄について町長はどのように思っておられるのか、ご所見をお伺いします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、自席でお願いします。

○町長（松田知己君） ただいまの再質問にお答えいたします。

先ほど答弁で言いましたが、アトラクションのあり方あるいは会場のあり方等について、総合的に検討させてもらいたいと答弁いたしましたが、再質問でご提示のあったことも受けとめまして、思い切ったアイデアを出してまいりたいと思います。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再々質問ありますか。（「最後に」の声あり） 6番、森元淑雄君の再々質問を許可いたします。

○6番（森元淑雄君） 議長、質問ではございません。（「はい」の声あり）

この敬老会の変化は、今後来るであろう劇的な大変化のほんの序章にすぎないと思っております。これからもよりよいまちづくりに向かってともに頑張っていくことにお誓いを申し上げます。私の一般質問を終わります。

○議長（澁谷俊二君） これで、6番、森元淑雄君の一般質問を終わります。